

中学校及び高等学校の部

グランプリ

「プラス α の魅力」

沖縄県立浦添高等学校 3年生 又吉 まこと

青い海、白い砂浜に憧れて、毎年、多くの観光客が沖縄を訪れています。那覇空港に降り立つ飛行機の中では、眼下に広がるコバルトブルーの海に歓声が上がります。今や、観光は沖縄の主要産業となり、それに携わる業者も研究を重ね、進化してきました。

しかし一方、観光という名の下、土地開発が進み、どんどん自然は、その姿を変えています。青い海、白い砂浜を強調するあまり、海は埋め立てられ、山は削られ、「このまま進むと、どうなってしまうんだろう？」と心配になります。今ある姿のまま、十分に観光地としての魅力はあると思うのです。もう、これ以上の乱開発はやめませんか？

これからの沖縄の観光に必要なのは、新たな作戦を練ることだと、私は思います。「風光明媚な島」だけなら、一度訪れただけで満足でしょう。「また来たい」と思われなくてもいいかもしれません。何度も沖縄に来てもらうためには、国外からも定期的に訪れてもらうためには、プラス α の魅力が必要だと思います。

プラス α の魅力、それについてヒントを得た出来事があります。私は、幼い頃からクラシックバレエを習ってきました。現在、私の所属するバレエ団では、西洋のバレエと東洋の民族舞踊を融合させた作品を披露しています。特に、琉球の楽曲に乗せて踊ることは、体になじみ、なつかしさを感じます。あるとき、私たちは、国際通りにある小さな劇場公演を開きました。舞台と客席が近いので、お客さんの反応が直に伝わります。演目が進むごとに鼓動が高まり、舞台と客席が一体となる感動を覚えました。お客さんをお見送りしようと出口に並んでいると、初老の観光客らしき女性に握手を求められました。

「何の気なしに入ったんだけど、すばらしかったわ。また観たいわねえ。毎年、この時期にやってるの？」

その方は本当に喜んでいて、舞台の感想を伝えてくださいました。そして、

「青い海だけじゃなかったのね。もっともっと宣伝した方がいいわ。」

と、言ってくださったのです。「身内だけでなく、観光の方にも喜んでもらえた」私は一瞬、自分たちが羽ばたく白い翼に乗っているイメージを見たような気がしました。

私の場合はバレエですが、沖縄には、空手、琉舞、エイサーなど、芸能に関わる人材が豊富にいます。自分たちが鍛錬してきた技を、観光のために役立てることができる、観光の新たな魅力として発信することができる、と私は提案したいのです。

沖縄は、かつて琉球という独立国でした。小さいながら琉球は、自在に船を操り、中国や東南アジアなどたくさんの国々と交易をし、栄えていました。そのため、余所にはない独自の文化が育まれてきたのです。空手や琉舞、エイサーなどは、世界に誇れる文化だと私は思います。

実際、大小さまざまな団体が海外に行って公演し、高い評価を受けています。しかし、現地沖縄では、空手の大会や、舞踊の発表会はさかんに開かれるものの、それを見に来るのは関係者だけ、というのが実情ではないでしょうか。その魅力は、こじんまりと身内の中で堪能されているだけなのです。ちょっとした工夫で客層を拡げることができるのに。

今年も八月に、同じ場所で、私たちは公演を開きます。あの方は又来てくれるでしょうか。たった一度の出会いだったのに、何故か心待ちにしている私があります。

ヨーロッパでは、毎年、定期的に決まった時期に公演を開く楽団や舞踊団があるそうです。その時期になると、国内外から人々が集まり、劇場の前に列を作ります。遠方から訪れる人たちは、その後食事をしたり、観光することでしょう。「この作品が生み出された背景を直に観てみたい。」と言う人は多く、町並みや暮らし、歴史など興味は尽きないものです。芸術と観光が連携しあっている良い例といえるのではないのでしょうか。沖縄観光の新たな方向性として、参考になるところはると思います。

沖縄観光のプラスαの魅力として、芸術を組み込むのです。空手や琉舞、エイサーなどそれぞれの団体が年に一度か二度、観光のために公演を開く、ときにコラボレーションをし、協同して一つの作品を創り上げる、このときはロングランで。それらの活動を行政が把握し芸能カレンダーを作り、国内外に発信する。「風光明媚な芸能の島」として。定期的に演じられている、というのであれば、又行かないわけにはいきません。その時期になると、何故だか「沖縄へ行かなくちゃ。」と血が騒ぐ。こうして、定期的に訪れてくれる、新たな沖縄観光のスタイルができるのではないのでしょうか。

私には夢があります。沖縄のたどった歴史。そこで育まれた独自の文化。それらを織りなした琉球組曲を創るのです。空手や琉舞、エイサーの皆さん、一緒に夢を追いかけませんか。『白鳥の湖』や『くるみ割り人形』などの演目も、初めはチャレンジだったかもしれませんが。それが、時代を超え、数限りなく演じられ、世界を代表する作品となりました。私たちがこれから創る作品も、その仲間入りを果たしたい。私たちの公演で、国内外からのお客さんを招くのです。コンベンション劇場や組踊劇場に、様々な国の人たちがやって来て列を作

る。沖縄を、プラハやウィーンのような文化の香り高い島にするのです。

世界各国の皆さん、風光明媚な芸能の島へ、一度来てみませんか。めくるめく芸能の宴であなただを虜にします。